

127番目の道の駅「道の駅かみしほろ」



株式会社 karch 中 田 将 雅

1 十勝・上士幌町について

上士幌町は大雪山国立公園の東山麓に位置し、十勝地方の北部、旭川方面から十勝に入る玄関口となっています。面積は約 700 平方キロメートル、人口は約 5,000 人の町で、畑作と酪農業の産業が盛んです。観光業では日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場のほか、鉄道遺産のコンクリートアーチ橋梁群、源泉かけ流しのぬかびら源泉郷、8月と2月に行われる熱気球イベントなどが知られています。また、ふるさと納税の町としてメディア等で紹介されることも多く、寄付金の使用目的を子育て支援に特化して活用し、人口減少に歯止めをかけていると評価されています。そして、このふるさと納税での取り組みを通じた地方創生が、上士幌町に道の駅ができるきっかけとなりました。

2 道内 127 番目の道の駅ができるまで



図-2 道の駅かみしほろ外観

これまで上士幌町では、道の駅に対して観光誘客としての可能性に懐疑的な声や、町財政を逼迫する施設は必要ないのではという意見が主でした。しかし、常に地方創生を意識したまちづくりに取り組む竹中貢町長の姿勢に、いつしか道の駅はこれからのまちづくりに必要な拠点施設ではないかという検討が始まりました。そして上士幌町は、2015年に国の重点道の駅候補に選定され、2016年には町の有識者等が集まり、道の駅建設に向けた基本計画の策定に入りました。2017年にはプロジェクトチームが設置され、全国の道の駅を参考にしながらコンセプトづくりを行いました。

運営に関しては、そのコンセプトをしっかりとした形で実現できる組織として株式会社の立ち上げを目指し、2018年5月に弊社「株式会社 karch (カーチ)」が設立されました。

そして2019年4月、ついに道の駅の建設工事が始まり、2020年3月に完成しました。当初5月28日のオープンを予定していましたが、新型コロナウイルスの影響によりオープン日が延期され、6月11日に営業を開始しました。



図-1 上士幌町の位置

このように運営会社が道の駅のコンセプト作りや、営業しやすい施設となるよう設計にも関わって完成した道の駅は、それほど多くはないのではないかと感じています。外観から内観、備品、外構など全てにおいて統一感を持たせることができ、お客様に気分よく過ごしていただける道の駅になりました。

3 地域商社が運営する道の駅

道の駅かみしほろは建設を計画すると同時に、どのような形で運営するのか議論を繰り返してきました。赤字は出せない、しかし誰かに任せるのではなく、この町の価値をきちんと伝える責任をもった組織がやらなければならない。そのような役目を担うべく設立したのが、観光地域商社「株式会社 karch」です。

道の駅オープン1年前には、2015年の大型低気圧によって建物が倒壊し、新たに建設されたナイタイ高原牧場の展望カフェ「NAITAI TERRACE(ナイタイテラス)」の運営を受託しました。2019年は4月末から10月末までの約半年間の営業期間でおよそ13万8千人のお客様にお越しいただき、これまで約4万人の入込だったナイタイ高原牧場を広く周知できたと考えます。

株式会社 karch は、株式の半数を町が所有する言わば第三セクターであります。しかし、施設運営のみ受託するのではなく、道の駅、ナイタイテラスともにシェフや販売スタッフを直接採用し、直営のサービスを提供しながら指定管理料に頼らない運営を行っているのが特徴です。



図-3 NAITAI TERRACE

道の駅、ナイタイテラスの指定管理料は段階的に減額し、5年後には指定管理料をゼロで運営することを目標としています。

4 道の駅かみしほろの特徴

「ここが旅の目的地」この道の駅を目的地として来てほしい。その思いをコンセプトに道の駅かみしほろはオープンしました。館内には、ソフトクリームや道内では珍しいパンケーキ生地のモダンサンドなどを楽しむことができるスイーツ店「THE SANDO(ザ サンド)」があります。商品デザインやパッケージにもこだわり、女性に人気のスイーツ店となっています。

地元の十勝ハーブ牛の牛丼やコロッケなどを提供する「UC STAND(ウーシースタンド)」は、地元のお肉や乳製品、じゃがいもなどを使用した軽食を提供しています。手軽に上土幌町の味覚を楽しんでいただけるよう、季節に合わせた新商品を提供する予定です。

物販ショップでは産直野菜や特産品、道の駅オリジナル商品を販売しています。野菜を販売する棚は、冬季の種類が少ない状況でも陳列が寂しくならないように可動式にするなど工夫しています。また地元で人気のパン屋「トカトカ」が道の駅に移転し、道の駅内で焼き上げたパンが数多く並びます。



図-4 フロアマップ

他の道の駅と一線を画すのは、レストラン「La Table de KAMISHIHORO（ラ ターブル ドゥ カミシホロ）」です。“上土幌の食卓”を意味する当店は、地元食材を使用したコース料理をフルサービスで提供しており、フランスから取り寄せたこだわりのワインとともにお楽しみいただけます。



図-5 レストラン料理

これらをご案内するインフォメーションはオープンなカウンターを備え、観光案内をはじめ、地方発送、レンタサイクル、移住や仕事相談、ふるさと納税の受付も行うコンシェルジュとしての役割を担っています。

屋外には広い芝生や大きな滑り台などの遊具があり、子どもたちを安心して遊ばせることができます。また、広いドックランもあり、愛犬家のコミュニティーの場となっています。熱気球の町・上土幌町ならではの熱気球の体験搭乗も休日に開催しており、目的を持って遊べる道の駅となっています。

このように道の駅かみしほろは特別な日も日常も、目的に合わせてお過ごしいただけます。

5 道の駅かみしほろの役割

道の駅かみしほろにご来場いただいた方の評価として、「休憩スペースが広く開放的」、「ドックランや屋外でも楽しめる」などといったお声をいただいているところですが、これまでの道の駅と比較して野菜直売が少ないなどのお言葉もいただいております。十勝・上土幌町の畑作は、じゃがいも、豆、ビー

ト、小麦の生産が主で、葉物の生産はととても少ない状況ですので、当施設の運営に賛同いただける生産者の方々を増やすよう取り組んでいます。

オープンに向けては、じゃがいもを使用したドレッシングやテイクアウトのコロッケ、大豆を使用したチップスやグラノーラといったオリジナル商品の開発に力を入れてきました。合わせて酪農の町らしく、上土幌町内で搾られた牛乳でオリジナルの「上土幌フレッシュミルク」を開発し、道の駅内で販売、またメニューの材料として使用しています。これらオリジナル商品の開発は、秀逸な素材が生産されているにも関わらずそのまま町外に流通していたものを、自分たちの手で価値あるものに変えて町内にお金を落とす仕組みとして、観光地域商社のやるべきことだと考えます。今後も道の駅では生産者と協力して、産直、オリジナル商品、加工商品の販売を積極的に行っていきます。



図-6 道の駅かみしほろオリジナル商品

6 持続可能な地域社会をけん引

弊社は道の駅やナイトテラスの飲食事業の他に、旅行業代理業を取得して旅行商品の造成や体験型旅行商品を販売しています。体験型商品は、じゃがいも掘り体験やお寺の住職による写経など地域の方々がプレイヤーとなりこの土地ならではの体験を提供しています。



図-7 お寺で写経体験の様子

また DMO 候補法人登録を行い、上士幌町の観光地域づくりに積極的に関わりながら、商店街や温泉街に誘客するための計画づくりを行っています。さらに地元酪農家から収集した牛の糞尿を用いて発電された電気を、市場から買い戻して販売する電力小売事業「かみしほろ電力」を立ち上げました。道の駅をはじめ上士幌町の公共施設や町内の一般家庭の電気は弊社が販売する電気をご使用いただいております。再生可能エネルギーを利用する環境に優しい町となっております。

これらは観光地域商社として「稼ぐ観光」を考えるだけでなく、持続可能な社会への目標を持って事業を行う「SDGs」を意識した経営によるものであります。

弊社株式会社 karch は、上士幌町に根差した会社として持続可能なまちづくりを牽引する役割を意識しながら今後も事業展開して参ります。



図-8 karch が運営する「かみしほろ電力」

7 今後の道の駅かみしほろ

道の駅かみしほろは6月11日のオープンから8月1日現在で14万人の方にご来場いただきました

た。新型コロナウイルスの防疫対策のため、客席数を減らしての営業やマスク着用、アルコール消毒を義務化させていただきながらではありますが、厳しい環境を考えれば順調なスタートが切れたと考えております。

7月より熱気球体験搭乗を開始していますが、今後は「SDGs」を意識したワークショップ、例えば新聞エコバックづくりや道の駅周辺のゴミ拾いなど実施いたします。また、地元中学生の吹奏楽部演奏会など地域住民が活躍できる場にもしていきます。昨今の状況を鑑みて、たくさんの人を集めるイベントはできませんが、毎月、毎週何かしらの催しが行われる道の駅にしていきたいと考えています。

レンタサイクル以外にも上士幌町ではカーシェアリングも開始いたしました。近日中にベビーカーなどを貸し出せるシェアリングロッカーの運用も開始いたします。

道の駅かみしほろは「食べる」「楽しむ」だけでなく、「学べる」場所でありたいと思っています。



図-9 熱気球体験搭乗の様子

中田 将 雅 (なかた まさのり)

株式会社 karch
事業統括部長

